

地区広報

# はづ

No. 18

羽津地区市民センター  
羽津地区社会福祉協議会  
平成元年10月25日



平成元年度 羽津地区敬老会開催さる

## みんなで 長寿社会を支えよう!!

「美しく老いる」ことに加え、「猛々しく老いる」気概も必須な要件となってきたののかも知れません。

「美しく老いる」ことに加え、「猛々しく老いる」気概も必須な要件となってきたののかも知れません。これまでの、例えば「美しく老いる」ということは、老人の心構えの代表的なものの一つでした。しかしこれからは、なかなかそんなに優雅に受身のままで老いさせてはもらえないようです。この長寿社会の中では、むしろ老人世代の役割や存在意義を積極的に見出し、活躍の場を作っていく気持も必要なのです。

これまでの、例えば「美しく老いる」ということは、老人の心構えの代表的なものの一つでした。しかしこれからは、なかなかそんなに優雅に受身のままで老いさせてはもらえないようです。この長寿社会の中では、むしろ老人世代の役割や存在意義を積極的に見出し、活躍の場を作っていく気持も必要なのです。

このような社会環境の変化の中で、当の老人や老人予備軍の方々はどのような意識を持って、高齢化社会を迎えようとしておられるでしょうか。これまでの、例えば「美しく老いる」ということは、老人の心構えの代表的なものの一つでした。しかしこれからは、なかなかそんなに優雅に受身のままで老いさせてはもらえないようです。この長寿社会の中では、むしろ老人世代の役割や存在意義を積極的に見出し、活躍の場を作っていく気持も必要なのです。



連合自治会長  
森 安吉

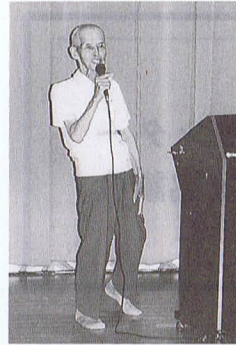
「猛々しく老いる」

今世紀末には、六十以上老人は人口全体の十

### ☆会場での声も拾いました☆

Q・敬老会に出席して、ズバリ、感想をどうぞ!!

- A<sub>1</sub>…風呂に入れるし、一日のんびりできるし、来るのを楽しみにしてましたんや!
  - A<sub>2</sub>…一年に一回、皆さんと顔を合わせて話ができるし、うれしいですね!
  - A<sub>3</sub>…若い時にもっと、歌のけいこしとくをやったな、来年も元気で来たいのう!
  - A<sub>4</sub>…お世話して頂くの大変やろ、有難く感謝してます!
- Q・毎日、どのように過ごされていますか!!
- A<sub>1</sub>…近所の子供さんの相手や、畑仕事もするし、結構毎日忙しいですわ!
  - A<sub>2</sub>…二人の孫が居るので、保育園の送り迎えせんならなし、オムツの取替えも上手になりましたわ!
  - A<sub>3</sub>…うちは八人の大家族で、みんな仲よく、ゲートボールしたりして楽しんでます!



### 敬老会の想い出

連合婦人会長 坪井 妙子

敬老の日が制定された昭和二十八年頃だったと思いますが、婦人会が自発的に其の日を意義あるものにする為、当時の連合自治会長のご了解を得て、各戸に湯呑茶碗一杯のお米のご協力をお願いしました。地区の方々より大変な厚志を頂戴し、これを資金として敬老の会を計画いたしました。

敬老会には七十歳以上のご老人を羽津小学校講堂に招待しましたが、当日は婦人会役員が朝早くから奉仕してお弁当を作ったり、余興に民踊を披露したりで大活躍しました。そして記念品として赤い座布団を贈呈する事になり、確

### 長生きしてね

羽津北小5年 中川 光世

わたしのおじいちゃんとおばあちゃん、四国の香川県に住んでいます。おばあちゃんは、少しこしがまがって来ましたが七十四才です。おじいちゃんは元気いっぱい七十五才です。習字や数学や英語のじゅく先生をしています。古くからある大きな家に、二人で住んでいます。あんな大きな家

Q・健康のひけつは!!

- A<sub>1</sub>…よくよせんと、のんびりしとることやなあ!
- A<sub>2</sub>…何でも好き嫌いせんと、よく食べ、体を動かして、ぐっすり眠ること、これが一番や!
- A<sub>3</sub>…毎日できるだけ歩くことや、足が一番早よ弱るでなあ!

ご協力有難うございました。いつまでもお元気です!!

### 昔話に心が弾んで

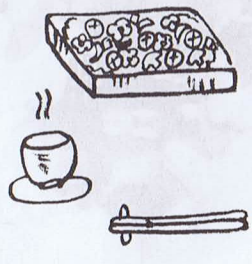


### 高齢者の心意気

- 〇…四十・五十は花なら。蕾
  - 〇…六十・七十花ざかり
  - 〇…八十・九十で実を結び
  - 〇…百に達して種となる
- 種は地に落ち、やがて芽を出す新世代 (熱年大学講義より)

### 敬老会(二)ぼれ話

敬老会の始めごろにお世話いただいた方によりますと、当時町内の方よりお米を寄付いただき、百食分ほどのちらし寿司を作ったところ、物のない時代のこと、バックをさがすのに大変だったそうです。小学校の講堂で、「桑名の殿さん」「やっこさん」など踊ったことを懐しんでおられました。



### すてきな「お守り」を

ありがとうございます!

市内十七軒町にお住いの小関美江子様(80才)より、手作りのわらじを形どった交通安全のお守りをご寄付頂きました。

羽津の敬老会が30年以上も続いていると聞いて感激し、真心こめて贈って頂いたそうです。有難うございました。



### おじいさん

おばあさんへ

羽津小6年 広瀬 真樹

わたしの家には、おじいさんとおばあさんがいて、いつもやさしくしてくれまます。よくおばあさんが、「何か買ってあげようか。」と言ってくれるけど、ついつい遠慮をしたいと思います。いくらおじいさんたちでも、やっぱりお父さんたちとは、感じが違うから、遠慮をしたいと思います。でも、お父さんたちがいない時などに、おじいさんたちがいっしょにいてくれるので、さびしいかと思つたことがあります。だから、おじいさんたちに感謝しなければいけないと、いつも思っています。

おじいさん、おばあさんに対して

わたしがお休みに帰るのを待たせてくれて、帰るとわたしのために作ってくれた「すいか」や「なつめやし」や野菜を、かごいっぱいちぎってきてくれます。又、車で牛乳ぶろや、吉野川や満濃池に連れて行ってくれます。でも今は、おばあちゃんの手足が不自由になってきたので、今までおばあちゃんにやっていた事を、自分から進んでやってあげたいです。

おじいちゃん、おばあちゃん、いつまでも長生きしてくださいね。

今年の羽津地区敬老会に招待された七〇才以上の老人は、男三三九名、女四七三名の合計八二二名におよび、高齢化社会を反映して、毎年その数は増える傾向にあります。

そんな中で、揃って八十才以上という長寿のご夫婦が二十組お見えになります。

今回、その長寿円満夫婦の中から別名一丁目の栗田憲昭・ふさ御夫妻を説教所の方へお尋ねしました。

御主人は耳の方が少し遠いようですが、まだまだ御健康で、お顔の色つやもよく、お二人で連れ立って「じやく」に出かけられるそうです。

仲むつまじく、何事にも控え目に、身の回りのお世話をしているらしやる奥様は、別名のお墓を守って、娘さんと三人で暮してみえます。

明治、大正、昭和そして平成にと事多き時代に、多難な出来事に遭遇されながら、今なお、お元気に、毎日別名四丁目の説教所へお勤めを欠かさず、規則

別名一丁目 栗田憲昭さん (92才) 栗田ふささん (82才)

### 御夫妻を尋ねて

注 じやく(寺役) 寺の役務



正しい日々を送られています。お元気な秘訣を伺いましたところ

「何事にも、腹を立てず、穏やかに、腹八分に生きる事」

「野菜を沢山食べて、何でも美味しくいただく事」が信条だそうです。

御夫婦合わせて百七十四才、……感謝の心で生きる姿勢が何われ、ほのぼのと温かいものが伝わって参りました。

これからも地域の方々の温かさに包まれて、お二人がいつまでもお幸せに、お元気でありますように。



大宮町17-8

て言いたいことは、毎日、私たちに元気な笑顔を見せてくださいという事です。

また、おじいさんたちから、私たちにしてほしいことをほとんど言うてくださいます。したら、私もなるべくできるようなことはします。では、いつまでも元気で私たちを見守ってください。

### 二人のおばあちゃん

羽津中2年 中山恵美子

私には二人のおばあちゃんがいる。奈良で一人で住んでいるマングと小説の大好きなおばあちゃん、いっしょに住んでいる書道の大好きなおばあちゃんです。奈良のおばあちゃんは、洋服を作るのがとてもうまくて、私が小さい時ピアノの発表会があるたび



山手町3340-1

にドレスを作ってもらったりしました。入学式や卒業式にも人が着ていないような、店に売っていないような服を作ってくれました。お母さんは、「お金がかからんでええわ。」と言って喜んでます。おばあちゃんに作ってもらった服を着ていると本当に幸せな気分になります。いっしょに住んでいるおばあちゃん、前に書道教室をしていました。私が小さい時は私のめんどうを見ながら教えていた日もありました。このおばあちゃんのおかげで私はケガや大きな病気もせず、今日まで明るく丈夫に育ってきました。

二人のおばあちゃんは、それぞれ住む所は違いますが、一日一日を楽しく過ごしています。病気をした時はずっと心配ですが、これからも身体に気を付けて長い人生を楽しんでほしいです。

# 特集 羽津青年団

市内では数少ない青年団ですが、歴史と伝統のある「羽津青年団」の活動状況を取りあげ、現代若者気質の一端をご紹介します。

はじめまして。  
羽津青年団長の小井正史です。今、青年団活動は極めて厳しい状況にあります。それは、青年団のサークル化現象です。

青年団とは本来、それぞれの地域行事を中心とした、活動を行うのが本場の姿であると考えており

毎週末曜日が、活動日となっております。  
○第一週 ボーリング  
○第二週 青年学級  
○第三週 スポーツ  
○第四週 定例会  
ボーリングは、友好を深める為に、青年学級では、一つの議題を決め、それについて話し合います。スポーツは、羽津小学校の体育館を借りまして、ドッチボール、バドミントン、バレーなどを行います。年間行事としては、  
◎六月 OB対抗ボーリング大

## 青年団の活動

会、春の日帰り旅行  
◎七月 キャンプ、志氏神社のぼり立て及びのぼりたおし  
◎八月 羽津地区盆おどり  
◎十月 秋の日帰り旅行、志氏神社のぼり立て、のぼりたおし  
◎十一月 羽津地区運動会  
◎十二月 志氏神社しめなわ作りと、大みそかの宮守り  
◎二月、三月 新入団員勧誘です。  
これからも、益々魅力ある青年団活動に取り組んでゆきたいと思えます。

ます。

ところが、最近では団員数の減少などにより、大型行事への取り組みが困難となっております。

このような現状の中で、もっと大勢の若者が青年団に加入して、自分達の町づくりを、若い力を發揮して欲しいと思います。

私は「昨日からの続きの今日ではなく、明日のための今日である」という言葉を、いつも心の中にもち、一日一日を大切に生き、そしてそれが、青年団活動に生かせる様がばっていくつもりです。



六月四日は青年団の旅行でした。行き先は神戸と六甲山の牧場なので、晴れるようにと願っていたのがかない、とってもいいお天気でした。

青年団員だけではなく、友達や青年団OBの方、その他いろんな人が来ていました。初対面の方が多くて少し心細かったけれど、みんな気さくな方で一日楽しくすご



しました。  
バスの中ではゲームやカラオケを楽しんだのですが、バスに乗っている時間が長くて疲れてしまい、神戸や牧場を散策する時間が短くなってしまったのが残念でした。でも、あたり一面の緑に囲まれた牧場では、羊を追いかけて遊んだり、新鮮な空気を胸一杯吸って来ました。  
忙しい旅行でしたが、思い出に残る一日でした。  
(西塚 里美)

## ひとこと 言わせて (団員のつぶやき)

○仕事の割に給料が少ない。  
○遊びの時間がほしい。  
○伊勢自動車道を早く伊勢まで作って  
(バスガイド 村田江利子)  
○労働時間の短縮を!  
(会社員 森 真人)  
○今は、三級整備士だけど、きつと検査員の免許をとってやるぞ。  
(整備士 島田充孝)  
○もっと税金を安くして。  
(団体職員 小井正史)

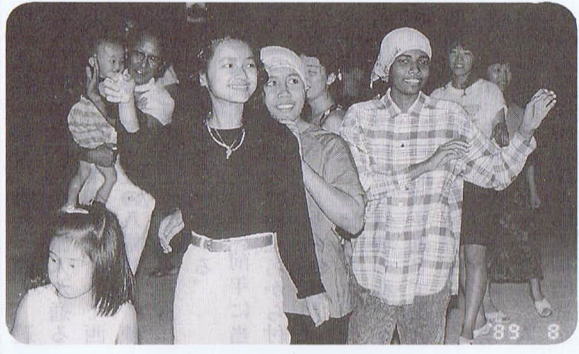


○青年団は危くないよ。  
(自営業 森 一知)  
○バイト料を都会並みに上げて(アルバイト 保田妃努美)  
○日本は戦後、大変豊かになりました。これからは心の時代です(専門学校 西塚里美)  
○真の世界平和を、願います。(専門学校 森 勝雅)



一見華やかに見えるこの盆踊りも、行燈依頼に始まって、やぐら撤去まで、実に二ヶ月余りの日数を費やしました。

しかし、当日、皆の楽しそうな笑顔を見ると、そんな苦勞もふつとんでしまいました。一部ですが、写真で盆踊りの様子をご紹介します。



▲外人さんもとび入りで



▲うまくすすめるかな

## 八月十四日・十五日盆踊り



▲ゆかた美人も参加して



▲みんな輪になって

## 友好深めた



去る六月十日に、青年団OBの方々と交流会で、ボーリング大会を行いました。  
OB会には、「志青会」「青友会」「OB会」の三つの会があります。OBの方々は、「まだ若いもんには、負けんぞ」と言って、気合が入っているように見えました。さすがおじさんパワーというのでしょうか、一位・三位はOBの人達がとりました。  
現役青年団は、毎月やっている



にもかかわらず、大敗してしまいました。  
OBの方々と交流会は、今回が初めての試みでしたので、何かと準備の面で戸惑いましたが、これからはもっと、続けていきたいと思えます。  
(加藤 善久)

## 御存知ですか 羽津青年団!!

地区にお住まいの100名の方々にアンケートをとってみました。

- ※青年団を知っていますか。  
はい 98% いいえ 2%
- ※今、18才なら青年団に入りますか。  
はい 58% いいえ 34% わからない 8%
- ※今後の青年団に、期待することは何ですか。  
○地元への協力  
○地域の子供達の模範となる様な活動をしてほしい。  
○さまざまなふれあいの中から、人としての正しい生き方の実践の場としてほしい。  
○地域に於ける社会福祉活動を期待している。

ありがとうございました。

地域の活性化の為に、青年団一同、益々活発に活動し、羽津の為にがんばります。

# 羽津の歴史散歩

羽津郷土史研究会

森 元三

祖先の記憶を大切にし、祖先と自分の育った地の文化に敬意を表することは、いま何か、狂っている日本社会への再考を望みながら、志氏神社に保存されている棟札から何の為に今日まで残されているのか、神社の造営や修理の度に、年号月日、その時の代表人名や、中にはその時代の祈願もこめて、克明に記載した正に歴史の戸籍謄本として第一級の研究資料と信じ、羽津郷の歴史を観察したいと思つて書き進めることにする。

羽津八幡について……

江戸に幕府が開かれて(1603)東海道往來が賑かとなり、特に参勤交

代の大名、武士、職人、商人、遊芸人、僧侶など凡ゆる旅人が通るようになった。東海道に沿つて西側に伊勢一國一社の八幡社は、棟札によれば寛永十一年(1634)八月二十八日の建立となつてゐる。

参勤交代制度が出来た前年に当る。八幡と呼ぶのは神社名から付いた名であろう。庄屋角佐衛門は久志本姓であることは同年九月十七日修理の高野御前修理の札でうかがえる。江戸時代を通じて桑名藩領で、八幡村に住民が住みつくようになつてから急に海岸の沖積地帯へ新田開発が盛んとなり、人の住む所に山の神が建ち神明社が造立され、八幡地内に祠が四社もあつた。それぞれの再建札は風水害も多かつた様で、二十数枚に及ぶ棟札が証明し、某家の先祖ではないかと思われる名が書き残されている。永い間に風化や蝕みで解読も難しい状態になつてゐるが、寛永年間(三百五十年前)の棟札では羽津村庄屋名で此の村名は未だ付いてゐない。朝明郡八幡村は文政十年(1827)桑名領郷村案内帳では戸数二十戸、人数八八、本村九戸、田市場八戸となつて(三戸は不明)出来高は年毎バラツキが多く、六百石から三百石位の年もある。有名な八幡の地蔵さんには棟札がなく、いつの頃から八幡にあるのか解つてゐない。どうしたところか、丸い頭の頭巾の下には螺髪があり、涎掛の下に隠れてゐるのは阿弥陀如来の来迎像である。

## 短歌



〈羽津野短歌会より〉

小林 英選

亡き夫の戦ひし島海南島をテレビは映す海のシルクロード

別名四丁目 青木ひろ子  
屋根を塗るタールよく伸びる昼下がりがざりある齡思ひてをりぬ

大宮町 小井 正二  
二十年夏のおんたけ参り続け今年の残雪道にここへぬ

いかるが町 伊藤 品子  
朝なあさな輝の鼓の多くなり夕べ鳴き澄むかねたたききの声

大宮町 加藤 光子  
山鳥の一声透る普賢寺の小徑に赤き野あざみの咲く

羽津山町 坂倉 俊枝  
伊勢名風に倒れしわが家満満つるたびに水漬くを十日見てをりき

富士町 杉本 光子  
玩具屋に計算しつ、玩具選る孫の千円札汗にしめれり

富田浜町 早川 澄枝  
緑濃き谷あひの墓地新墓のみかけ石に照る真夏の光

川原町 平子 秀昭  
倒れ伏す穂に白き芽を出すあり雨降り続く収穫の季節

羽津町 広瀬 敦子  
しろがねの芒の穂波さらさらと風に音せり小山田のみち

羽津町 前田素女子

黒々と波間に浮ぶ筏ゆれ月影淡く鳥羽の夜の更け

東阿倉川 水谷 怜子  
八月の白山スーパール林道に波打つ尾花琥珀の光

桑名市 村田 千代  
今は亡き夫と歩きし土手の道かの日の如く葛の花匂う

桑名市 渡辺 茂子  
【選者録】  
黒衣の群片寄りてバスを行かしめつ吊ひの村を過り来しなり

みゆきヶ丘 小林 英

## 俳句



〈志氏ヶ野句会より〉

村田 青麦選

若葉林ぬけて明るき松の寺

羽津町 大森みつゑ  
大輪のバラに傘さす雨の庭

城山町 片岡とき代  
茄子苗を植えて恵みの雨つづく

城山町 川本 ふみ  
帰り路買はざりし壺陽笑ひぬ

緑丘町 神田紀呂笑  
貸し家札古り十葉増えつづく

羽津中一丁目 紀平とく子  
ダムの水豊かにたたへ栗の花

八田町 久志孝幹子  
蜻蛉のつと裏返る軽さかな

白須賀町 館 二三子  
人にややおくれて衣更へにけり

羽津町 藤井まさ女

筆納め拝む筆塚麦の秋

別名町 水谷 安代

一板の石橋白し梅雨の月

城山町 宮田 健蔵  
緑蔭に沈もる牛の静かなる

いかるが町 安田 源吉  
睡蓮に遊ぶ金魚の呼吸づかい

大宮町 山本 幸

## 編集後記

秋の陽はつるべおとし、志氏の森にも落葉のつもる季節となりました。地区広報第十八号をお届けします。

今回は、前半で地区敬老会行事を取材し、後半に青年団活動を紹介しました。老人と若者、この相對する世代が協調しながら、地区の明日を見つめて貰えれば幸いです。

編集委員一同、素人の集団でありますので、内容にいささか不安でもあります。

何か、お気づきの点がありましたら、当センターまでお聞かせ下さい。

### 編集委員

- 山本鉄男・天野平一
- 奥村光子・内田節子
- 村瀬重行・林 英雄
- 小井正史・小関佳子
- 堀 悦子・水谷由紀子
- 羽津地区市民センター